

西多摩医師会報

1984年1月1日

135号

発行所・社団法人 西多摩医師会 東京都青梅市西分3-103

編集委員・菅井 義久 TEL (0428) 23-2171(代)

栗原 琢磨 齊藤 信幸 塩沢 永康

高木 直 堀田 洋夫 道又 正達 村山 正昭



正月の日南海岸 堀切峠

青梅市 近藤 肇

昭和五十九年年頭にあたり

会長 瀬戸岡 進

新春を迎え御家族お揃いで健やかに正月をお過ごしになっていることと心からお慶び申し上げます。昨年は西多摩医師会創立七十周年記念式典を挙行いたしました所、各界代表の来賓の方々をはじめ、大勢の会員の皆様の御出席をいただき清爽の上にも盛大に催すことが出来ましたことは、まことに有難いことであり深くお礼申し上げます。

さて医療に携わるものを取りまく周囲の状況の一段ときびしさを増す中で、地域医療推進の中核として、又新しく発足した老人保健法ヘルス事業に対しても情熱をもって取りこんでいただいております。会員各位に対し心から感謝申し上げる次第であります。

約十年前からの世界的経済の不況と低迷は我が国に対しても例外ではなく、我々の行う医療福祉の面にまでも速慮なくおおいおささって来ております。前年からの政府、厚生省の打ち出した国家予算の圧縮も行革に名をかりた福祉予算の削減や医療費給付率の引き下げなどここにきて峻烈な正念場をむかえたようです。それに加えて五十八年は春の地方統一選挙から十二月暮れの衆議院総選挙まで国中が騒然とした状況でありましたが、年

新らたまって改善される兆しはありませんし、私達に関係の深い高令化社会突入の件、医師急増問題につきましてもより切実感がましている状態ですが、これとって関係当局などの的確な対応は望み薄の現状です。

このようなときこそ一段と日医の奮起を切望するものであります。又都医におきましても昨年四月には衆目の期待を担つて羽田執行部が誕生致しました。私達は三多摩格差の是正が声高に叫ばれて長い月日が経っております現在、都医の公正な運営に期待をかけながら地域の特殊性を配慮した地域医療計画に一層ののぞみをかけ、都医と地区医師会との連携を密にし、協力関係を深めなければならぬと思います。

今年も厚生省は医療法、健康保険法の改訂案の再提出をもくろんでいるようですし、三月からは薬価の大巾な切下げも行われようとしております。

年頭にあたり難局に向い一段と心を引きしめて、由緒ある西多摩医師会の発展のためにも、会員の皆様と共に進んでまいりたいと思っておりますので、一層の御指導、御協力をおねがいして、御挨拶いたします。

1984年の新春にあたり

副会長 江本 虎雄

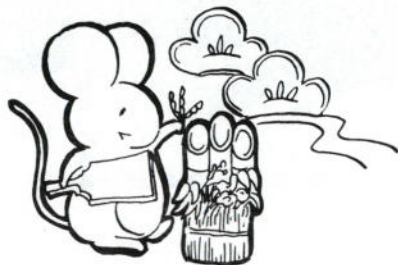
新年おめでとうございます。昨年は西多摩医師会創立70周年記念事業に、会員の皆さまの御協力をいただきありがとうございました。

健保法の改悪が企図され、医療費適正化の名のもとに、受診を抑制し、早期診断、早期治療に逆行する施策が強行されようとしています。

保険医に対しては減税でなく、特別措置を打ち切り、事業税をかけようとしています。一方では審査をきびしくして、実質的には制限診療を押しつけようとしています。

地域医療を担う医師会員が一つになって、地区医師会、都医、日医を下から押し上げて、斗って行かないかぎり、国民医療は破壊されてしまいます。

会員諸兄に、自由に発言していただき、会員の意見を医師会の運営に反映させ、会員の親睦と福祉のために、残された任期を全うしたいと思います。



鼎談 敗戦前後の西多摩医師会

— 激動期を支えた人々 —

出席者 近藤 肇先生
近藤美代子（近藤先生夫人）
山田正哉先生

西多摩医師会創立70周年というひとつの節目を迎える時、人々はそれぞれの感概を持つ。

そして、過去をふりかえり、現在をおもい、将来を展望しようとする。良きにつけ、悪きにつけ、ずしりとした歴史の重み、これこそが全会員共通の財産であろうか。

記録にない西多摩医師会の歴史の一コマを三人の方々に語って頂きました。昭和58年11月21日の夜、場所は西多摩医師会館和室でした。

— 会報編集委員会 —

近藤（肇） 山田正哉先生はオヤジさんが医師会長をやっておられた関係で当時の事情にとてもくわしいわけ……。私は兵隊に行っていたから、よくわからない点もある。前回の記念誌などを参考にして、医師会のことや事務所のことなどについてお話をしてみたい。いわゆる同好医会というのは記録によると明治26年1月14日発足ということになっているんですね。60周年とか70周年とか言っているのはその同好医会からじゃなくて、明治45年の4月27日、西多摩郡医師会が第1回総会をやっている……それから勘定しているんです。

その後、東京府が東京都になったのが昭和18年、その時に、東京都医師会西多摩支部と名称を変えたんですね、記録によると……。

それから、戦後、マッカーサーの指令で、各地の医師会を社団法人化することになったんです。昭和22年12月12日に社団法人西多摩医師会としての第1回総会を行なっている。

西多摩医師会の事務所は、それまでは青梅の大河原先生のところでやったり、いろいろだったんですが、私のオヤジが、うちを事務所にすることにしたのが昭和17年、それまでは勝沼の農林学校の前に「田中外科」という

のがあって、その方の前が大越先生という眼科のお医者さんで、そこでやっていたんですね。昭和17年の3月、青梅の、やはり眼科の鈴木達三先生という方があり、そこに事務所が移されています。ところが、その年の秋、鈴木先生が応召して出征しちゃったんですね。困ったというので私のところに事務所が来たんですね。その頃、保険審査会という名がついていましたが、今の整備会ですね、これを私の家でやっていました。戦後になりました三枝先生（今の三枝先生のお父さん）が海軍から帰って来られた。うちのオヤジも長く医師会事務所をやっているからそろそろ……というので昭和22年12月に、三枝先生のところに事務所が移されたんですね。それまでの間、事務局の書記みたいな仕事を私の家内がずっとやっていたわけです。

ところが、昭和26年1月4日、三枝先生のところに移した事務所が火事になり、書類もいっしょに燃えちゃったから、記録はなくなっちゃった。

現在の会館ができるまで、一時、保健所に移りその後、勝沼の羽村（げんしち）という個人の家を借りることになったんです。

羽村さんととも長くなったので、それなら会館をつくらうということになってね……健康保険点数の何%だったけね……5%だったかな……。ともかく、その何%かを天引きにして資金とし、昭和33年11月16日に、この会館が落成したんです。それが現在につながっている訳。これが大まかな沿革ですよ。

山田正哉 あゝ、持ってくればよかったですね。趣意書があるんですよ。

近藤 肇 私は昭和15年に兵隊に行きました。昔は人数も少なかったし、皆、親しかった……。私が支那に行くとき、先生方が私を立川まで送ってくれたんですね。送別会で横田静蔵先生が「タコ踊り」を披露してくれたり……。

役員会、審査会など、よく集まっていたらしい。家内がガリ版を切ったり講習会

に行ったり、いろいろやっていた様です。記録もなくなっちゃってもう何十年も経ちやうた……。

家内の頭の中にどの位残っているかわからないけど、わかんないところがあったら聞いてみて下さい(笑)。昭和19年頃、学童疎開がありましたね、各医者が受け持った……。

近藤美代子 昭和18年の春頃じゃなかったでしょうか。

山田正哉 そう、18年の春頃だったと思います。小曾木と杉並区でしたか……。

近藤 肇 医薬品の配給などもあった……。

終戦後、私は割と早く軍隊から戻って来まして、オヤジを手伝っていました。横田に「航空審査部」というのがあって、膨大な量の衛生材料があった……これ……特殊なものはお金を払ったけど、あとの物はタダ……それらを先生方にわけたんです。その辺のことは山田先生がくわしいから、あとで話してもらいましょうか。

山田正哉 事務所が大越先生のところにあった頃のことには僕はうす々々しか覚えていない……。大越先生のあとは、青梅総合病院にいた福島君とこ……西分のガソリン屋のおむこさん……。

近藤 肇 「田中外科」のあと、はり切ってやりましたね。その後鈴木先生のところに移ったのは大越先生が軍隊にひっぱられたからかな……。

近藤(美) ………出征なさらなま(事務所は)移らない……。

山田正哉 大越君は僕より一年上でした……。

近藤 肇 T.B.で亡くなったんだらう……。

山田正哉 え、松本に行って、それからどこかで……。

近藤(美) 大越先生はたしか小曾木の出身なんです……。その後、奥様が小曾木の方へ引込まれた

山田正哉 大越先生のところから鈴木先生のところへ移った……。

近藤 肇 鈴木先生が半年で出征しっちゃったから、事務所の行き場がなくて……。

山田 肇 そこで、近藤先生の奥さんとこへ移った……。

近藤(美) 私は身軽だったんです。主人は出征

して、家に居ないし、子供も居なくて(笑)……いや、本当なんです(笑) それで文句言わないで一番使い安い(笑)から、父が事務所をもって来て、全部やらせた(笑)。

山田正哉 大河原先生のところでやったこともある。

近藤(美) 先生方皆さんの二世はまだお一人位でした……昭和17,8年頃のことです。

山田正哉 進藤先生のところは昭和13年にも軍隊にひっぱられていた。そのころ残っていたのは青梅では眼科の鈴木先生、近藤先生のお父さん、大河原先生のお父さん。それから百瀬君のオヤジさん、それで石森先生はまだ残っていたんですね。

近藤(美) でも、石森先生はまだ名古屋にいらした様ですね。名古屋大学を出て後に「勝沼内科」を開業されたんじゃないかな……か？ あの時、学位を持っていらした……。クリクリ坊主頭になっておいでだったのを覚えています。

鈴木隆之助先生は将校でいらした……。

山田正哉 少尉だったですか……。

近藤 肇 1年半位でフィリピンで死んだ……。

山田正哉 レイテで亡くなられたですね。青梅吉野に住んでおられた。いま市議員をやっている鈴木(歯科)先生のお父さんだよ。

近藤 肇 そのあとが空いちゃって、今の後藤君が眼科を一時開業したことがある。

山田正哉 鈴木先生はいつも袴はいて白足袋で診察して居られた……。

近藤(美) ちょっと、こわい感じ(笑)。こわかったのは鈴木先生と福田先生。(笑)

近藤 肇 福田先生は僕から見てもこわかった(笑)

山田正哉 その鈴木先生のところで事務所をやったあと、近藤先生の奥さんとこへ移ったんです。

近藤(美) 審査会するとき、福田先生は御自分の請求書のことでも忙がしいんです(笑)……。

近藤 肇 審査会へ来て自分のレセプトを書いている……(笑)

山田正哉 有名な話です(笑)

近藤(美) 山田先生のお父さんが会長で、「全くしょうがない……何しに來ているんだ」と言っていたことがあるんですね(笑)

山田正哉 あの頃の審査は今の様な東京都全部じ

ゃなくて、三多摩だけが対象だったですね。

近藤(美) 国保の請求書を書く様になったのはいつごろからだったでしょうかね、その辺がよく覚えていない……。

私の父は字を書くのが大嫌いで、医師会の文書をガリ版で刷るのも、父に言われて私がやっていたんです。手をまっくろにして…慣れるまで随分苦労しました……原紙もきちんと切らないとうつらない……(笑)父は審査会に皆さんにお目にかかれるから、その日を楽しみにしていましたね。今でも覚えております……配給の乾パンがございましたね、あれを私なんかには食べさせてくれない……どうするのかと思っておりますと審査会のときに油で揚げまして砂糖でくるめて、医師会のお菓みに……。さきほど申しあげました鈴木先生や福田先生が結構よろこんでめしあがってらした……。そんなことをやりながら、事務的な仕事はお前、ひかえておけと……。

戦争中でしたから、審査会のお食事など出せなかったです。お茶だけでしたね。

近藤 肇 僕が戦地から帰ったとき、硫黄島に行く準備会があってね……。僕はその頃酒をのまなかったけれど、配給の酒を水筒に詰めたりして近所からうなぎを買ってさ……。それを当番兵に公用出張ということで(笑)家へ持って行かせた(笑)

したらオヤジがそれを医師会の審査会で皆に出したらしい(笑)。近藤先生のところへ行くと「ごちそう」が出る(笑)……。

近藤(美) それはもう、さゝやかなものでした。

山田正哉 あの頃、医師会の帰り、駅前の「梅月」に立ち寄りたり……。

近藤(美) あの頃の国保の請求は毎日の診察、投薬、注射等をチェックしなければいけなかった。

山田正哉 一部負担金をとる、とらないで問題になった。一点単価は10銭だったと思う。

近藤(美) うちなんか国保ばかりで、各市町村全部、別々に請求しなければならなかった様です。

近藤 肇 あの時ね、薬は一日25銭と決めていたんだよ、慣行料金でね、だから、北島太一日本医師会長が社保と契約したとき、一点単価

25銭で計算したんだよ。社保の本人だけ。

山田正哉 それは近藤先生、よく知っている(笑) 保険医協会をつかって保険医新聞をやっていたんだから……。

近藤正哉 例えば、総額1億の医療費が必要とみて、単価を決めた訳だよ、ところが、思ったより患者が(医者にかかっちゃうんだよ、医療費が仮りに2億になったとする……そうすると単価は12銭5厘になっちゃう。患者が医者にあまりかからなければ25銭が30銭になる……。ところが大阪の方へ行くと8銭、9銭……。いまでも大阪あたりでは濃厚診療をやっているけどさ……。

毎月々々単価がちがうのよ、それが健康保険のはじまり……。

近藤(美) 当時、医療費の3割は未収だと父が言っていました。

山田正哉 保険というのはほとんどないんだよ。

近藤 肇 労働者保険なんだ。「アメとムチ」のアメの部分だよ。家族保険はなかった。だから江東区の下町には保険本人が多かった。あのあたりの医者には保険でメシ食ってたから、一点単価8銭、9銭になるとこたえる訳よ。昭和30年頃か……。初診料が大体50銭、高い人は1円。大学病院は開業医の倍額だった。自然にそんな額になっちゃったんだ。大学卒の初任給が45円から50円位。

山田正哉 巡査の給料が15~16円。

近藤 肇 見習い(看護婦?)は住まいと食事を出して5円だ。僕の月給が75円、昭和15年だ。医専出が少尉、大卒で中尉、その差は10円位。

学童疎開で医師会活躍

山田正哉 青梅と秋川の草花へ行った……。

近藤(美) うちが開修院と地藏院だから、小曾木と吉野です。

近藤 肇 要するに一人の医者が疎开学童二校分を受け持った。皆、お寺に疎開していた……。

近藤(美) 自転車で往復して診察してましたから、大変でしたね。

お産の時は自動車(木炭車)を動かしてもいいということでした。当時、お産で往診に行くと背広が買えた(笑)。

近藤 肇 患者には、とても払えるもんじゃないよ

だから野菜や魚など持って来て、これで勘弁してくれとね……(笑)。

近藤(美) 午後から丹波山あたりへ往診に行つて、一晚中起きていて、炉端で手打ちのそばを御馳走になって朝の診察時間までに帰ってくるのが精一杯でした。

校医や予防注射は？

山田正哉 その頃の医師会には学校医部なんてなかったが、僕のおヤジなんかは今の秋川市あたりの校医はやっていた。

近藤(美) 大河原先生が青梅の小学校、うちの父は、今の多摩校……。それから警察医がいなくて、自殺や変死があると警察から呼びに来ました。最初の警察医は平岡先生でした。戦後は高木先生のお父さん。

山田正哉 福生には当時警察がなかった(笑)

近藤 肇 予防注射は種痘をやっていた。戦後、行政としてやったのは腸パラね。腸パラの副作用でよく死んだね。軍隊では強制だった。ところがね、どんどん腸パラにかかっちゃうんだよ(笑)

だから腸パラなんてのはね、効くよりも事故の方が多んじゃないかなって言ってた(笑)。

伝染病については、青梅では永山の上に避病舎があったね、医師会事業だったと思う。

山田正哉 福生は今の第3小学校のところにあった。

近藤 肇 秋川では事務組合をつくって今の阿佐留病院のところに避病院をつくっていた。

仲間が軍隊にとられ、残っていた人々は…

山田 肇 奥多摩では川辺君のお父さん、氷川に沢内先生、古里に三井先生のお父さん、平岡先生のおじさんの雨沢先生、それから笹本君のお父さん、そして近藤先生がいて……。

近藤 肇 調布村には誰もいない。

山田正哉 あとになって大原先生。

近藤 肇 小曾木、成木は無医村だった。

山田正哉 羽村では坂本先生、眼科の加藤シゲさん、横田さん。福生でうちがいて、江藤先生、横田(テルトシ)さん。瑞穂に荻野先生がいた……。高水さんはまだいなかった。秋留に平野さんのおヤジさん、平井では菊地先生、

戸倉に今の栗原先生のおヤジさんがいた。

近藤正哉 その人はね、昭和18年に兵隊にひっぱられて僕のところに来た……。今川君のおヤジさんと、戸倉にいたんだ。

山田正哉 益子に坂本(トシオ)先生。

近藤(美) アサノセメント診療所にもどなたかいらした筈です。

山田正哉 檜原村には誰もいなかった。終戦時、昭和病院、今の福生病院の前身があったね。そこには池田(ハルヒコ)先生、石川先生。

近藤 肇 あれは社員が対象で、住民は診なかった。今でこそパーがいっぱいあるけど、当時あそこは原っぱにすぎなかった。病院はひとつもなかった。西多摩で最初の病院は福生病院だよ。国保が昭和飛行機診療所のあとを買収して病院にしたんだ。

航空審査部の衛生材料を配布

山田 肇 戦争中、医師会は救護班というのを作っていたね。福生へは、よく、米軍の艦載機が来て爆弾を落として行ったね。19年か20年の3月頃、江藤先生のところに救護班がつくられ、航空審査部から三沢剛文先生なんか来ておられた様ですね。

近藤 肇 今の牛浜駅は当時、航空審査部のための駅だった。

山田正哉 亡くなった香西盛長先生は航空審査部の医務部長だったね。

近藤 肇 山田先生が詳しいと思うけど、終戦後、航空審査部に衛生材料がいっぱい残っていて、それを西多摩医師会がゆづり受けて医者仲間に配った。その時の会長は山田先生のおヤジさん、僕のおヤジは副会長をやっていた。

山田正哉 当時、航空審査部にはいろんな物資があり、そのままと占領軍に没収されるので、公共団体には無償で払い下げると言う事だった。それで僕のおヤジがレントゲンとか薬などを譲り受けて来た。僕が復員して来たところ、おヤジからそれらを整理しろと言われてやっていたら、大蔵省が何か忘れてしまったけど、「美は、社団法人西多摩医師会を公共団体と間ちがえて払い下げてしまった。ついでに払い下げ物資全部にお金を払え」と言って来た(笑) 持っているといけないという

ので急いで五万円位で売っちゃった(笑)。

近藤 肇 レントゲンが一番高かったよ。顕微鏡は折りたたみ式のがあって、買手が見つからないので、僕が500円で買った。まだ、うちにあるよ(笑)

山田正哉 なにしろ急いでいた(笑)ので、僕が勝手に値段をつけた(笑)

近藤 肇 レントゲンとか顕微鏡なんかは皆で買ったけど、包帯とか脱脂綿とかガーゼや薬はタダ(笑) 何だかわからない薬がいっぱいあった(笑)30数年も経た最近、うちの看護婦が、茶色のガーゼを出して来て「先生、こんなものがでて来ました」、変色しちゃったんだな(笑) 僕のオヤジが、皆、兵隊から帰って来て使うだろうからということで平均に分けようと言って、山田君があちこち配って歩いてた(笑)

山田正哉 五日市、青梅、奥多摩などあちこちへ運んだことは覚えているが、何で運搬したのか、よく覚えていない(笑) 物品は実費ということで、合計12~13万円位になったか……。それを会館建設資金にということだった。

近藤(美) なにしろ、いっぱい置き場所に困った記憶がありますね。

山田正哉 9月12日に僕が復員して来たのに、その月のうちに物資を全部整理し、とっばらえ……。でしょう。あの半月は本当に辛かった(笑)

近藤 肇 9月2日にミズーリ号の上で降伏調印をやったばかりで、まだ進駐軍は大勢は来ていなかった。

近藤(美) まだ厚木にいて、横田も米極東軍司令部になっていなかったですから……。

顕微鏡でGonokokkenを調べさせられ……

山田正哉 10月か11月、米兵用のアミューズメントストアとかいうのが出来て、江藤先生に頼まれて、毎日顕微鏡を持ってGonokokkenを調べに通ったことがある。

近藤 肇 暮には今のブリジストンのところに女の子を狩り集めて、そこをパンパンハウスにしたんだ。横田の兵隊は皆、そこへ買いに行っていた。公認なんだな。僕なんかもよくGonoを調べに行かされた。

近藤(美) ブリジストンは将校用だった様です。

昔は「楽々園」といって外国の大使クラスの人が来ていました。

近藤 肇 あの頃、Gonoを調べに行ったらパンパンから聞いたんだけれども、外人用の接待員だ、ホステスだと言って女学校出や短大出の女性が、だまされて集められ、「楽々園」にブチ込まれた……

無理矢理やられちゃって、そのため、あきらめて本格的なパンパンになってしまった女性が大勢いたそうです。政府がテキヤか何かを使って集めさせたらしい。一般の子女がやられちゃ困るというので……。

かわいそうな話。その頃、「楽々園駅」というのがあった。今は石神前駅といっているけど……。

近藤(美) 医師会が性病の検査をやっていたのかしら。

近藤 肇 いや、警察がやっていたんだ。ブラブラしている女をトラックに乗せて連れて来た。しょうがないと思ながら僕は毎晩12時頃まで顕微鏡をのぞいていた。

近藤(美) 毎日でしたね。

近藤 肇 何やかやでMPとできている女もいるでしょう。何でもないのでMPにつかまって2週間も横田へ連れて行かれたことがある。あとでわかった事だけど、僕が顕微鏡のぞいてプラスだ、マイナスだと言うでしょう、パンパンの中に縄張りがあって、プラスにされて、うらみを持ったやつがMPに言いつけたために僕がつかまった(笑)「お前は沖繩送りだ」なんてMPにおどかされたりして……(笑)

山田正哉 MPに通じている女がうっかりプラスにでもなるものなら、そのMPにこっちが怒られる(笑) マイナスにしろなんていうけど、そうは行かない……(笑)

近藤 肇 Gonoというのと、あの頃はペニシリンをうった。米軍PXにルートのある人はペニシリンが使えた。月給が5,000円位の時PC60万単位1本うって5~6,000円とっていたね。

山田正哉 昭和23年頃、ストマイが1本1万円。Meningitis T.B.の治療のときは40万円用意してくれと言った時代です。ストマイ40本でどうにか治る(笑)

近藤 肇 PCI本が月給1ヶ月分……。

戦後の混乱期が過ぎて……

山田正哉 昭和21年12月、戦争中医師会の支部長をやっていた者はパーズで全部やめさせられたんだよ。22年8月29日、東京都医師会西多摩支部が解散させられ、社団法人に改組しなさいという。その社団法人西多摩医師会の最初の会長が先頃、亡くなった横田先生です。東京都医師会も西多摩医師会も同等の人格を持つという形になったが、これはGHQによるいわば分割支配です。

近藤 肇 会長は選挙だった。横田先生と僕のオヤジが同数で、オヤジはやる気がないから降りた様だ。僕は第1回総会に出席した。

山田正哉 これが、そもそも西多摩医師会の最初だよ。昭和22年頃から軍隊にとられていた人達が戻りはじめましたね。高水先生、小泉先生、石森先生……

近藤 肇 進藤先生は長く中国に残って居られたらしい。その辺について進藤先生はなぜか多くを語ろうとされない(笑) 共産軍と国民党軍の双方から診療にあたる様要請があったのかも知れません。

山田正哉 三田君のオヤジさんはどうしたんだろう。保健所に行ってたのかなあ。あの頃、医師会の事務的文書や何かは全部北多摩医師会の事務の五十嵐君が持って来ていた。

近藤 肇 そう、それは事実だ、北多摩から来た文書はオオフィシャルなものだった。医師会館ができてからもしばらくの間、文書は北多摩で印刷して持って来ていたね。

羽村君がレセプトをリュックサックに詰めて北多摩医師会まで持って行ってた。西多摩医師会には文書をおこせる様な事務員がいなかった。

山田正哉 そう、誰か文書をつくれる人はいないかということで原田前事務長がくることになったんだ。それから、西多摩医師会が埼玉との関係が深いのは、当時、西多摩では診療報酬支払の指定銀行が富士と三菱だけだったので、それでは困るというので埼玉銀行にしてくれと歎願した。

近藤 肇 三菱経由、埼玉銀行指定という形に、西多摩医師会がしたんだ。

山田正哉 そんな関係で埼玉銀行は、いまでもレセプトを基金に持って行くことになって現在に至っている(笑) 今でもおそらく70%以上の方々が埼玉銀行を指定していると思う。

お三人の話は尽きなかつたのですが、戦中から戦後の再生期が語られたところで、この鼎談を打ちきらせて頂きます。これらの話の中から、今日そして明日の医師会を支えて行くための「何か」を感じとつて頂ければ幸いです (編集委)

山田正哉先生永年学校医表彰さる

受賞に際して、非常に謙きょにうけとめておられるご様子でした。先生に一筆何かお書き願う様にお願いましたが、御遠慮なされた様なので、私がリポートさせていただきます。先生は学校医としてはもとより、各種検診に、精力的にかつ、学究的にとりしまれ、私達、会員のよきリーダーとして御活躍されております。写真は去る12月20日、福生市医師会休日診療所研修会の際のスナップです。 リポート 道又



山田先生

時 報

58年度西多摩地区各市町における
老健法健康診査の実態

公衆衛生部 松原貞一

本年2月法的にも不備のまま発足した老健法の保健(ヘルス)事業は、秋に入り健康診査体制も漸く形をなし、各市町村共12月迄に一般健康診査を終えることが出来た。しかし法的にも理解出来ない点、不合理な所多々あり、これを見つめては頭をかきげながらの体制作りに各市町村も苦心の後が忍ばれ、「老人健診」とか「成人病健診」とか65才を界にして分けるほど、老健法成立以前の老人福祉法に基づいて行っていた健診の印象が未だに根強く残っているのが現実である。医師会の公衆衛生部は医療協議会や保健所の担当者連絡会の場などで、出来れば西多摩地区の各市町村同じような健診体制が出来ればと努力を重ねて来たが、老健法は元来市町村が実施主体ということもあって、本法による第1回の健診が終った今各市町村の健診体制をアンケートしてみた所、その体制は「通知の方法から結果の報告まで」各市町村により全く区々であり、もはや同じテーブルで話し合いをすることが出来ない位多様となっていた。

一般健康診査体制については、青梅、福生、秋川、瑞穂、五日市、奥多摩が法定通り40歳以上を対象にしているのに、羽村、日の出、檜原は町村負担で30歳より健診を実施している。医療協議会で合意に達した健診体制(65歳以上個別、64歳以下集団)を実施したのは、福生、秋川、羽村、瑞穂、五日市、日の出の6市町で、青梅、奥多摩は64歳以下も個別で行なわれたのに対して、檜原村は65歳以上も集団で健診が実施された。実施時期は65歳以上に限ってみても、大体が9~10月に実施されているが檜原は8月より、福生、瑞穂、奥多摩は終了が12月に入っている。実施期間も最短は瑞穂の7日間、最長は檜原村、五日市の2ヶ月である。市町村のヘルス事業に対する意気込みが伺える健診対象者に対する実施予定者数の比率を比べてみると、高い所は五日市の58%羽村の57%瑞穂の44%で、青梅、福生、秋川、日の出、檜原は10%台で最低は奥多摩の7%であった。実施後65歳以上の健診実数を対象者対比でみると、最高は羽村の50%最低は秋川の7%であった。65歳以

上について健診の通知方法と受診率を比べてみると、健診票を同封の上個別通知をした所は受診率が高く(羽村50%)、公報のみの青梅は8%、個別通知はするが役場に受診申し込みをし健診票の送付をうけてから出掛けるという複雑な方法をとっている秋川は7%と受診率が低かった。64歳以下の分も含めて健診結果を比べてみると、「異常なし」「要精密」「要医療」の3区分の内、「異常なし」の多かったのは日の出、秋川で、日の出は8割、秋川は6割が「異常なし」であったのに対して、青梅、五日市、檜原の「異常なし」分は2割台で、他の7割以上が「要精密」か「要医療」であった。結果の連絡は青梅、奥多摩、檜原が後日郵送、他の市町村では健診時手渡す方法をとっており、秋川市では要精密者は再び役所に精密検査申し込みを行ない精密健診票の送付をうけて後、精密検査をうけることになる。

胃がん検診についてみると、法定通り40歳以上を実施している所は福生、秋川、瑞穂、奥多摩、東京都の補助のある35歳以上は五日市、檜原で、更に市町村の負担で30歳以上に検診を行っているのが青梅、羽村、日の出の3市町であった。検診体制をみると、青梅の指定医療機関(玉川病院)委託の外は、すべての市町村が東京都がん検診センターの検診車で一次検診を行っている。検診数は青梅の3500人は群を抜いて多く、2位の羽村800人の4倍以上であった。この傾向は子宮がん検診にも現れており、青梅市の3300人は2位羽村の900人の約4倍であった。なお老健法ヘルス事業とは関係ないが、乳がん検診を行っているのは青梅、福生、秋川の3市で、日の出が来年度より実施予定と聞く。(次頁の表に続く)

おしらせ 西多摩医師会創立70周年を記念して五日市の小泉新策先生より秘蔵の日本画(10号)を御寄贈頂きました。青梅在住の長谷川麦穂画伯の作品です。会館内事務局前に掲示してありますので御鑑賞下さい。

	一 般 健 康 診 査		胃 が ん 検 診		子 宮 が ん 検 査 診 数	健 康 教 育	健 康 相 談			
	実 施 体 制	65才以上 予 定 数	65才以上 受 診 数	健 診 票 送 付				一 般 診 査 結 果	年 齢	検 診 数
青 梅	40～64(個) 9～10月 65～(個) 9.12～10. 8	1300 (15%)	713 (8%)	公 報	異なし 要 精 医 要 要	643 1534 165	3500	3306	31回	30回
福 生	40～64(集) 9月～ 65～(個) 11. 1～12.10	500 (16%)	受診者数 対 象 者	個 通 知			374	500	2回	1回
秋 川	40～64(集) 8～9月 65～(個) 9. 1～9.30	300 (10%)	234 (7%)	個 通 知 (後日健診票)	異なし 要 精 医 要 要	568 177 107	580	600	27回	50回
羽 村	30～64(集) 通年 65～(個) 10.11～10.29	1250 (57%)	1091 (50%)	個 通 知 { 健診票	異なし 要 精 医 要 要	526 284 530	800	900	24回	14回
瑞 穂	40～64(集) 8～9月 65～(個) 12. 1～12. 8	750 (44%)		個 通 知 { 健診票	異なし 要 精 医 要 要	78 54 11	300	400	4回	0回
五 日 市	40～64(集) 7～ 65～(個) 9. 1～10.30	1200 (58%)	909 (43%)	個 通 知 { 健診票	異なし 要 精 医 要 要	329 627 415	291	264	3回	0回
日 の 出	30～64(集) 8～9月 65～(個) 9.12～10.11	150 (10%)	255 (19%)	個 通 知	異なし 要 精 医 要 要	676 89 88	168	232	3回	10回
奥 多 摩	40～64(個) 通年 65～(個) 11.15～12.16	100 (7%)		個 通 知 { 健診票			93	100	6回	60回
檜 原	30～64(集) 8～10月 65～(集) 8.15～10.20	114 (15%)	123 (16%)		異なし 要 精 医 要 要	83 263 3	81	180	17回	11回

文芸・随筆

国民医療費クイズ
さてあなたは？

出題者 X Y Z 生

「医学生は保険や医療費についてまったく知らないね、そういうほくだって学生のととき全然関心がなかったけど……」とT君はK大学医学部三年の公衆衛生の講義を頼まれてやったといつてそのあとつぶやいた。

「公衆衛生の講義なんて20名ぐらいしか出席しないことが多いそうだ。ほかの科もあきれほど出席率が悪いらしい」と国家試験がきびしい昨今でも学生は彼が学生の頃と変わらずサボリが多いことを語り、そしてつぶやいた。「どうせ集まらないと思ってプリントを20名分用意していったんだが60名以上出席していたよ」「ほお？またどうして？」と私がいうのを受けて彼は言った。「まあ、プリントはすぐコピーしてもらったがね。なぜ学生の出席がよかったかというね、保険の話なんかつまらないだろうし、課外講義だから、もし、10名や15名の出席じゃ話す方も張合いがないと思って、予め出席をとるとを学生に予告しておいてもらったんだよ。だから……」「それはやりがいがあったろう。それでどうだった？」彼は満足気に云った。「講義をきいていた講師が、判りやすく明快で学生は飽きないで熱心に聴いていましたね、と言ってくれたよ」

そこで、彼の語る講義の状況は？というところ。

質問 「たとえば、この大学病院にくる患者の初診料は保険でいくら知っているかね」

答 「知りません」

質問 「どのくらいだったらよいと思う？」

答 「3,000円ぐらいでしょうか」

質問 「この前、石原裕次郎が入院したね、特別室の料金を除いて医療費は約800万円かかった。これは全部保険だと思うか」

答 「自費もあるんじゃないですか」

質問 「小柳ルミ子が八重歯を抜いたとき、保険でできたか」

答 「保険ででもできると思います」

質問 「保険で定められた範囲を越えて行った診療についてその部分患者から徴収してもよいか」

答 「必要があってやったのだから自費でもらってもよいと思う」-----

「これまでの問題は保険医は誰でも知っているがね」と彼は次に数学の問題を示した。

「この問題はいわば社会常識化した問題だがね、保険医は果してどうだろうね」

彼の示した問題は、医療費問題がかまびすしい昨今は保険医にとって身近な数学の問題である。「うん、言いならわされた数学だな、判っているようで、サテ正確になると……」私は首をひねった。

彼は言った。「まあ、普通の保険医だったら6割以上はできないとね……。8割できる人は上出来だろうね。医師会の役員だとか医療費問題を論ずる人だったら10割が望ましいが、8割以上できればよいとすべきかな」

そこでその問題だが-----

さて、あなたは6割の合格ラインを越えますか。なお、永年、保険だとか医療費問題について一家言を持っていた筈の私だが、残念ながら8割には及びませんでした。

問題

- 日本の昭和56年度の国民医療費推計額は
① 8兆円 ② 13兆円 ③ 18兆円
- その国民所得に占める割合は
① 4.4% ② 5.4% ③ 6.4%
- この割合は西欧諸国に比べると
① 大きい ② 小さい ③ 同じ位
- 国民医療費の伸びは国民所得の伸びに比べ
① 高い ② 低い ③ 同じ位
- 国民医療費を財源別でみると、国の支出でまかなっている部分は
① 10% ② 20% ③ 30%
- 患者が支払う医療費の部分は
① 10% ② 20% ③ 30%
- 現在65才以上の人口割合は
① 8% ② 10% ③ 12%
- その人達の医療費の占める割合は
① 18% ② 26% ③ 33%

9. 2000年には65才以上の老人人口は

- Ⓐ 13%
- Ⓑ 16%
- Ⓒ 19%

10. 現在、1日の70才以上の入院患者は全入院患者の

- Ⓐ 24%
- Ⓑ 29%
- Ⓒ 34%

国民医療費クイズ正解		
1. b	5. c	9. b
2. c	6. a	10. b
3. b	7. b	
4. a	8. c	

〔注〕

会報には原則として匿名は認めておりません。だが11頁の国民医療費クイズは内容からみて匿名差支えないと編集委員会で認めました。

さて、XYZ生とは一体、何先生でしょうか。医師会の内情に詳しい先生方は見当がつくと思いますが。これもクイズです。

ポテト野郎

エイトビートで押忍、大晦日元旦二日も霊峰富士山は素敵だった。大野えり、アンリ菅野、阿川泰子、中本マリ、真梨邑ケイ、仲村裕美らのジャズLP盤を持ち込み心ゆくまでジャズに溢った毎日を文字どおりたった一人で富士一合目の山小屋で只今過ごしているのである。もちろんビールを朝昼晩すすりながら……なぜならば、割合自分ではマトモと思っているが、どうも家族達の評判が悪いらしい。年末八回の忘年会（一回は盛岡の産婦人科医局）ですっかり呑ん兵衛となり毎日タシナムようになってしまったことはまだしも家族に向かって知らず知らずのうちに気合を入れるらしいので嫌われてアナクロニズムと簡単にかたづけられ、山梨県一色村で正月を迎える破目となったわけである。何かがひとつ弛んだ私は矢張今後共アウトサイダーとして厚顔無恥に暮らすのがあっているのだろう。私が人品卑しからぬふりをして、(岩手県生れ)川越高校出身ときたら当然のことと思う。

だからポテトチックに会報も編集しているのかも？ 話はコロッとかわって既に臨調路線は静かに歩み始めて、今回の選挙にみられるように、笑・涙・怒りの演技の人間が現代のリーダーであるならば開業医は怒ぎわ族あるいは夕暮れ族よろしく自然削減の憂き目をみることだろう。

やっぱりどうしても私にはカバーストーリーらしいものはかけない。広報部には政治経済に精通している人なんかが良い。国立公衆衛生院日野秀逸先生のプリントを見てレーガン行革下のアメリカ医療は、明日の日本の姿であると結論してあ

た。末尾にシヤトルの保健生協で政府の補助金など問題にせず胸を張って地域に根ざす方向で医療を守り抜いている人々組織があるとのことが、非常にピリッときた。幸い私の属する福生医師会は会員がイコールパートナーであるので医師会主導型の老人病院を建ててそこで昇天したいものだ。いささか私見を混ぜるならば心療内科の主治医でいい奴に世話になりたい。徒らに検査点滴ばかりではないサッパリした形でお願いしたい。

従来の医師会報は、広報西多摩医師会として発行し、季刊号を一味違った西多摩医師会報としたものだ。世の中ゴルフ流行だが他にも楽しいことが沢山ある。ウィンタースポーツ、夏海山、春の花見、観劇、落語、プロ野球見物、オークス、ダービー etc……。野球好きな先生方を集めて西医倶楽部(仮称)チームを作り、軟式野球老化しているのでソフトボールでも良いが月1回対外試合もしてみたいものだ。

◎どうしてもやってみたいのは、鎌倉あたりで旨い精進料理など食べながら俳句川柳などの傑作をひねるバス旅行なんて仲々粋なこともいいんじゃないですか……………

貴重な紙面をダラダラ費やすようですので、この辺でやっと手に入れたM A L T A (丸田良昭君)のLPでも聴こうかな。

1984. 1. 2 いささか屈折した

編集委員 道 又 正 達

星野稔先生の老健法健康教育

高血圧と動脈硬化といったタイトルで去る12月5日午後1時より福生市扶桑会館で、福生市医師会会員としてスターターとなりました。数日後「先生如何でしたか」とお聞きしたところ「矢張り自らが老人と膝を合わせて融け混んでこそ意味がある」とのお言葉がありました。また福生市職員の阿部保健婦さんの感想を尋ねたところ「当日31名の受講者があったのですが、その位の人数が最もよいように思われとてもよかったし、質問の時間をたっぷりとられて日常生活に密着した特に食事療法などについてご指導があった」とのことです。老人の中には迷信的な民間療法を相談した方もあったりして、先生は丁寧優しく例をひ

いてわかり易く説明されたことも聞きおよびました。ご苦労様でした。

リポート 道又



星野先生（1983.12.5扶桑会館にて）

医事紛争等処理特別委員会からの注意事項

1. 医師会に所属する病院、診療所は本委員会に加入すること。
2. 医事紛争事件が発生した場合は独断にて処理することは行わず本委員会の指示に従うこと。
3. 担当医の過失が明白な事故は放置せず速やかに本委員会に届出ること。
4. 警察で取調べのあった事故については、本委員会で示談解決した後になっても検察庁から呼出しがある場合があるが、その際には本委員会まで連絡すること。
5. 本委員会に委任した事項は個人にて交渉を行わないこと。
6. 診療に従事する会員は前医の治療結果等を批判する言動を慎み、いたずらに患者を刺激しないこと。
7. 電話の応答に対し、録音をしこれを訴訟の証拠として提出した例があるので、電話であっても不用意な回答をしないよう十分注意すること。
8. 注射を行う際は、神経麻痺を防ぐため慎重に行い、筋注はなるべく避けること。特に看護婦に行わせる時は適切な指示をすること。
9. ペニシリン等を注射する際は過去のショック等について問診のみでなく必ずテストを行うこと。他の抗生物質についても慎重に対処すること。
10. 乳幼児に対し抗生物質（マイシリン、ストマイ等）を使用する場合には慎重に行うこと。
11. 人工妊娠中絶手術施行に当っては必ず配偶者の同意書を取ることを。
12. 当初の目的以外の手術を加える場合は患者側の承認を取ることを。
13. 湯タンポ等事故の起こり易い物を患者に与えるときは、付添者に一言注意を申し添えること。
14. 骨折治療に当ってはX線撮影は透視のみでなく必ずフィルムにて撮影し、証拠書類として保管すること。
15. 患者がショック等により異状死した場合には必ず解剖にすること。

文 芸

寒き庭 ただ 耐ゆるかに 咲き出づる
 寒椿 あり 心ひかるる
 何故に この 極寒の 折りにのみ
 咲きて 耐えゆく 寒椿かな
 蟲もゐず 鳥も集はぬ 花びらに
 寒に 耐えゐて 咲く不思議さよ
 耐えに耐え ただひたすらに 耐ゆるごと
 花の命を とどむ いさをし
 一つだに 散ち落つる 花 見ざるなり
 寒椿とは そも 如何なる花ぞ
 寒に咲く 椿を思ひ 我もまた
 じつと 耐えつつ 筆執り 励みて
 いと容易し と 心にもとめず 筆とれど
 認たむる 文字の 拙きを知る
 絶えず 會心の書 書かむとて
 努めて あやかりてなむ

診療報酬明細書返戻状況

西多摩医師会

10月分

返 戻 理 由		医科(乙表) 件 数
1	保険者番号、記号・番号、公費負担者番号、公費受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	68
2	旧証の記号・番号	2
3	患者名、生年又は生年月、転帰のもれ	7
4	傷病名のもれ	5
5	診療月分、診療開始日、診療実日数のもれ	6
6	診察料(初診、再診、往診、指導日又は時間外等の表示)のもれ	2
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	9
8	診療実日数と診察回数又は処方回数の不一致	11
9	投薬・注射(薬名、規格単位、用量、回数)の不備	9
10	処置・手術・検査・X線(薬名、回数、内訳)の不備	6
11	入院料の不備	1
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明	3
13	契約外(国保、国鉄、公費)	5
14	症状詳記(診療内容及び方針の説明等付せん参照)	9
15	申し出によるもの	1
16	その他	17
計		161

理事会報告

12月臨時理事会

昭和58年12月7日(水)

P.M. 7.30~

西多摩医師会館

小林理事
塩沢理事
議事録署名人

I 報告事項

(1) 「医療協」(11月29日開催)報告
西村副会長

- 58年度ヘルス事業の実績について
- 59年度ヘルス事業の計画について

(2) 各部報告

- 総務部 1月理事協議会休会について
- 広報部 70周年記念特集号について
- 学術部 12月18日学術講演会について
多摩医学会について
- 保険部 自治体国保担当者懇談会
(11/25)
個別指導立ち合い(11/29)
- 福祉部 福祉部理事連絡会(11/24)
新年会について
地域医療推進委員会(11/25)
- 公衆衛生部 赤痢発生について
ヘルス事業アンケートについて
- 産業医部 労働安全週間について
事業主に対する講演依頼
- 学校医部 地区医師会学校医連絡会

(3) その他

- 青梅総合病院広告誌について 江本副会長
- 新年会招待者について 殖田 理事
- 健保改悪反対第一次署名について 大塚 理事
- 医事紛争等処理委員会報告 瀬戸岡会長

II 協議事項

- 昭和59年度ヘルス事業の一般健康診査料要求額について
- 新規病医院会費について
- 定款施行細則第79条表彰規定制定について
- 入退会会員 全員承認 (医師会日誌参照)

12月移動理事会

昭和58年12月21日(水)

P.M. 7.30~

青梅市 ひのき茶屋

塩沢理事
高木理事
議事録署名人

I 報告事項

- 都医地区医師会長協議会報告 瀬戸岡会長
- 各部報告

- 保険部 地区保険部連絡会報告

小林 理事
個別指導立ち合い 木野村理事

II 協議事項

- 昭和59年度自治体諸手当の改訂について
市町村よりの回答額

学校医報酬(月額) 29,000円

同内科管理手当(月額) 13,000円

未就学児検査(1回) 29,500円

予防接種出務手当 21,500円

1才6ヶ月児健診 24,000円

— 全員了承 —

- 小泉新策先生より日本画「鮎」の絵を寄贈される件について

— 全員了承 —

- 入退会会員

— 全員了承 —

(医師会日誌欄参照)

医政連負担金25%分については保管金で充当

— 全員了承 —

同好会だより

第110回西多摩医師会ゴルフ大会

昭和58年8月25日 霞ヶ関CC 東コース

氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ	
鈴木	41	45	86	13	73	優勝	10	
官川	40	42	82	9	73	2	8	BG
小沢	54	58	112	36	76	3	34	
藤田	44	49	93	10	83	4		
杉本	52	46	98	14	84	5		
山口	52	49	101	16	85	6		
大嶽	50	44	94	8	86	7		
江本	57	46	103	12	91	8		BB
内山	49	52	101	10	91	9		
高水			NR					

第111回西多摩医師会ゴルフ大会

昭和58年10月22日 立川国際(奥多摩)

氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ	
鈴木	46	40	86	10	76	優勝	8	BG
内山	47	41	88	10	78	2	9	
足立	43	49	92	13	79	3	12	
江本	50	44	94	12	82	4		
稲垣	55	64	119	34	85	5		BB
杉本	48	53	101	14	87	6		

第112回西多摩医師会ゴルフ大会

昭和58年12月25日 立川国際(奥多摩)

氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ	
江本	47	44	91	12	79	優勝	10	
林	43	45	88	9	79	2	8	BG
大河原	55	53	108	24	84	3		
足立	49	47	96	12	84	4		
大嶽	46	47	93	8	85	5		
内山	44	51	95	9	86	6		
鈴木	50	50	100	8	92	7		
杉本	56	50	106	14	92	8		

ヘルス事業の現況

西村 邦康

昨年の今頃は性急に制定された老人保健法の取組みに忙殺されていた。それから1年、老健法の一つの柱である保健事業は、西多摩地区では医療協の場で、実施主体である自治体と種々討議を重ね曲りなりにも何んとか消化されて来た。

即ち57年度(昭和58年2月~3月)は従来の老人福祉法による老人健診を老健法の保健事業(ヘルス)に振替えることとした。58年度(昭和58年4月~59年3月)の事業については、法の主旨にもとづき可能なかぎり実施することとした。

昨年11月29日に医療協を開催し58年度ヘルス事業実施状況の実体把握及び59年度事業計画について協議した。58年度の実績は別表の通りである。

表をみて気付くことは、

- (1) ヘルス事業に対する認識の不明確さ、即ち老人福祉法の老人健診との混同がその取組みの基本姿勢の中に自治体、医師会の両者ともみられる。
- (2) 実施事業内容の自治体間のバラツキが多くみられる。これは(1)の姿勢で従来の健診事業に老健法のヘルス事業を上積みしたため当然の結果である。
- (3) 我々が一番実施困難であると考えていた機能訓練事業を実施した自治体がある。
- (4) 法の主旨を、村立診療所と協力して忠実に住民のために話がした自治体は檜原村であった。

以上の事実をふまえて西多摩地区ヘルス事業を考えてみると、西多摩地区内に於けるヘルス事業

の統一性と個別性の再検討が必要と考えられる。

具体的には、事業を都市型の事業推進と農山村型の推進とに大別して事業を推進することが望ましいと考へる。上記のように檜原村が一応の成果を収めていることから、医療過疎の地区では、全国的モデルとして有名な沢内村のように、農山村型とも云える。行政主導型のヘルス事業が効果がある。その効果の成否は首長の姿勢に関係する。都市部(西多摩のと云う意味ではない)のヘルス事業は、社会基盤の成熟により財政が福祉保健事業に向けられやすく、本来なら事業は円滑に行なわれる筈である。しかし住民の意識の多様化、医療過密地区と云うこともあり、行政主導型のヘルス事業はなじまない。従来より独自に保健事業を推進してきて成果を上げている先進地区の医師会主導の都市型ヘルス事業をモデルにする必要がある。しかし西多摩地区では青梅、福生とも未だその方法は確立されていない。今后充分検討する必要がある。

又、当初準備不足で大変とこぼしていた自治体が別表のように事業を実施したことに敬意を表するが、上部組織(国、都)への報告、即ち数学にとらわれペーパープランにみられがちな量の拡大におちいることなく、事業内容の質を考え内容のない空疎なヘルス事業への転落を防ぐ必要がある。最近医療産業の1分野に健診産業が急成長している。又老人ホームの機能訓練事業へのシフトが目立っている。量の拡大は安易に健診産業に傾斜す

ることになるし、また世の指弾を受けた一部の老人病院の二の舞となる可能性もある。

市民の健康は、市民と密接な関係にある地元医師と市民との連帯によってのみ守ることが出来る。このことを行政も充分考えていただくと同時に我

我も、医師の本来の使命、(市民の健康を守り増進する)情熱をヘルス事業に注いでいかなければならないと考えます。これがまた21世紀医療への我々の対応のワンステップであると考えます。

昭和58年度老人保健法に伴う各市町村保健事業実施状況

事業名	市町村	法の内容	事業内容	4月～12月の実績	1月～3月の予定	備考
健康手帳の交付	青梅市	医療受給者全員 40歳～69歳希望者	医療受給者証、 ^① 発行時に交付 健診受診者30歳～69歳に交付	5,427部	1,572部	
	福生市	"	" 40歳以上の希望者	541	309	健康センター(窓口) 福祉部厚生課
	秋川市	"	"	974	70	福祉事務所 健康会館(窓口)
	羽村町	"	"	328	481	保健センター 健康課(窓口)
	瑞穂町	"	65歳到達者、検診時交付	600	200	
	奥多摩町	"	65歳以上は医療受給者証 ^② 発行 時に交付。40歳以上の希望者	837	150	福祉会館福祉課 (窓口)
	五日市町	"	医療受給者証 ^③ 交付時に併せて交 付。健康診査時及び随時交付	586	82	保健衛生課 健康係(窓口)
	日の出町	"	65歳以上は、医療受給者証発行時 に交付。40歳以上の希望者へ交付	809	70	健康診査のとき 配布
	檜原村	"	"	293	207	保健課(窓口) 住民課
	青梅市	対象者40歳以上 年30回実施		17回 699人	430人	
健康教育	福生市	" 年24回実施	成人病予防等の教養講座	1回 31	1回 50	地域会館(医師) 健康センター(保健婦)
	秋川市	"	保健、栄養学級 健康づくり講座	23回 728	7回 210	健康会館他 医師・評論家等
	羽村町	"	成人病予防等の教養講座	9回 247	4回 278	健康センター(医師) (保健婦)
	瑞穂町	" 年12回実施	成人病予防食等の調理実習	10回 268	1回 51	" "
	奥多摩町	" 年6回実施	成人病予防等の講演会 成人病予防講習会、高血圧治療食講習会 糖尿病治療食講習会、貧血治療食講習会	3回 70	3回 70	福祉会館
				143	—	

事業名	市町村	法の内容	事業内容	4月～12月の実績	1月～3月の予定	備考
健康教育	五日市町	対象者40歳以上 年12回実施	成人病予防、健康の増進、食生活 についての講演	3回 145	—	農協会館(医師) 保健婦
	日の出町	"	老年期における健康教育、講演会 スライド	3回 230	—	対象 老人クラブ 老人福祉センター 各老人クラブ
健康相談	檜原村	" 年6回実施	成人病予防等の教養講座	11回 299	6回 180	福祉センター(医師) 保健婦
	青梅市	対象者40歳以上 年140回実施	老人健康相談(福祉センター) 成人" (相談室、巡回)	21回 482人	233人	
	福生市	" 年120回実施	—	—	(1回実施予定)	
	秋川市	"	医師による健康相談(毎月第一月曜日) 保健婦、栄養士による保健栄養相談 (毎月第三木曜日、健康診査日) 栄養士による栄養相談 (11月から毎週木曜日)	28回 115	22回 66	健康会館(保健婦) 医師 栄養士
	羽村町	対象者40歳以上 年120回実施	健康相談室(栄養)	11回 62	3回 43	保健センター(栄養士) 町内の会館
	瑞穂町	" 年80回実施	—	—	—	
	奥多摩町	" 年40回実施	健康相談室・地域健康相談	75回1,300	45回 700	福祉会館 古里出張所
	五日市町	" 年80回実施	—	—	—	
	日の出町	"	循環器疾患、食事、運動等の相談	10回 114	—	保健婦
	檜原村	" 年40回実施	精神衛生相談(個人別)	9回 102	3回 40	診療所
青梅市	対象者40歳以上 目標受診率50% 実施年1回	個別により実施	65歳以上 713人 40歳～ 1,629 64歳計 2,342	—		

事業名	市町村	法の内容	事業内容	4日～12月の実績	1月～3月の予定	備考
一 般 診 査	福生市	対象者40歳以上 目標受診率50% 実施年1回	一般健康診査(65歳以上) " (40歳～64歳)	11月1日～12月10日 368人(訪問診査3人) 2回 41人	—	医療機関(個別) 健康センター(集団)
	秋川市	"	老人健康診査(") 成人 " (")	9月 234人 8.9月 618	—	医療機関(個別) 健康会館(集団)
	羽村町	"	" (") " (40歳以上 町任意30～39歳)	10月11日～10月29日 1,091人 12回 269	—	医療機関(個別) 保健センター(集団) 町内の会館
	瑞穂町	"	40歳～64歳は集団方式 65歳以上は個別方式(法定補助事業 の外エックスマン撮影)	集団 143人 個別 416	—	
	奥多摩町	"	老人健康診査(65歳以上) 成人 " (ミニドック)(40歳～64歳)	11月16日～12月15日 20人 16回 160	—	医療機関(個別) 保健所 保健化学研究所
	五日市町	"	65歳以上個別実施 40歳～64歳集団実施	969人 (うち2名訪問) 地区別に7日間 264人	—	町医会委託
	日の出町	"	老人健康診査(65歳以上) 成人 " (40歳以上 任意20歳～39歳)	個別方式 255人 集団40歳以上362人 方式20歳～39歳23	—	医療機関(4ヶ所) 町内10会場
	檜原村	"	成人健康診査(30歳以上 任意18～29歳)	4回 349人	—	集団検診 福祉センター他
	青梅市	対象者40歳以上 実施年1回	一般診査で必要な者	1429人	—	
	福生市	"	"	65歳以上 69 40歳～64歳14	—	医療機関(個別)
秋川市	"	" (本人の希望)	9月実施 175	—	"	

事業名	市町村	法の内容	事業内容	4月～12月の実績	1月～3月の予定	備考
精 密 診 査	羽村町	対象者40歳以上 実施年1回	一般診査で必要な者	284	20人	医療機関(個別)
	瑞穂町	"	"	個別 85		
	奥多摩町	"	"	160	80	医療機関 保健所 保健化学研究所
	五日市町	"	" (個別実施)	個別分 534 集団分 93		町医委託
	日の出町	"	"	65歳以上 74 40歳以上 66 30歳～39歳 28		
	檜原村	"	一般診査受診者全員	4回 349		集団検診 福祉センター他
	青梅市	対象者40歳以上 目標受診率30% 年1回実施	検診車による胃部X線間接撮影 30歳以上	1,879人	1,621人	
	福生市	対象者40歳以上 年1回実施	" 40歳以上(都任意35歳～39歳)	5回 228 (都任意42)	3回 150 (都任意30)	ガンセンターの検診車 にて健康センターで 実施
	秋川市	"	検診車(エックス線、間接撮影)	9回 230	2月 250	集団
	羽村町	"	検診車による胃部X線間接撮影 40歳以上(都任意35～39歳 町任意30～34歳)	7回 299	9回 501	ガンセンター検診車 保健センター 町内の会館
胃 ガ ン 検 診	瑞穂町	"	集団方式 東京都ガン検診センター委託	249		
	奥多摩町	"	検診車による胃部X線間接撮影 40歳以上	7月21日と22日に 実施 93人		ガンセンターの検診 車にて町内2会場
	五日市町	"	" (集団検診)	6日間 291 内訳 { 35～39歳 42人 40歳以上 249人		東京都がん検診 センター委託

事業名	市町村	法の内容	事業内容	事業内容	4月～12月の実績	1月～3月の予定	備考
子宮がん検診	日の出町	対象者40歳以上 年1回実施	検診車による胃腸X線間接撮影 40歳以上	検診車による胃腸X線間接撮影 40歳以上	30歳～35歳未満11人 35歳以上 157人	—	ガンセンターの検診 車町内5会場
	檜原村	—	—	— (35歳以上対象)	3回 81人	—	—
	青梅市	対象者30歳以上 (女性) 且標診率30% 年1回実施	東母方式	東母方式	3,299人	—	—
	福生市	対象者30歳以上 (女性) 年1回実施	東母方式による子宮頸部がん検診	東母方式による子宮頸部がん検診	—	2月1日～3月10日 500人	医療機関 予防医学協会
	秋川市	—	—	—	—	2月・3月 600	医療機関
	羽村町	—	—	—	—	1月～2月に実施 900	医療機関 予防医学協会
	瑞穂町	—	—	—	—	400	—
	奥多摩町	—	—	—	—	1月～2月に予定 (未定) 100	町外の医療機関 (未定)
	五日市町	—	—	—	12月～1月実施 申込者 264人	—	医療機関 予防医学協会
	日の出町	—	—	—	11月15日～12月14日 申込者 227人	—	検診(阿佐留病院) 検査(予防医学協会)
	檜原村	—	—	—	—	2月～3月に実施 180	診療所 東母保護医学協会
機能訓練	青梅市	40歳以上の心 身低下者等	61年度実施予定	61年度実施予定	—	—	—
	福生市	—	—	—	—	—	—
	秋川市	—	今年度予定なし	今年度予定なし	—	—	—
	羽村町	—	60年度実施予定	60年度実施予定	—	—	—

事業名	市町村	法の内容	事業内容	4月～12月の実績	1月～3月の予定	備考
機能訓練	瑞穂町	40歳以上で心身低下者等	予定なし			
	奥多摩町	"	歩行、上肢機能等の基本動作等の社会的機能訓練	100回 1,500人	50回 700人	特別養護老人ホーム寿楽荘に委託
	五日市町	"	1施設10人 週2回リハビリ	70日 430	左に同程度	特別養護老人ホーム委託
訪問指導	日の出町	"	59年度実施予定(特別養護老人ホームへ委託)			
	檜原村	"	未定			
	青梅市	40歳以上のねたき者に月2回訪問	58年度訪問調査	189人 270回	127人 21回	
	福生市	"	対象者の把握、基礎調査(保健婦)	基礎調査実施(8月・9月) 63人 " 対象者 52人 " 実施者 15人 " 希望者		(59年度より実施)
	秋川市	"	今年度予定なし			
	羽村町	"	対象者の把握 基礎調査、訪問指導の実施	基礎調査実施 35人 訪問対象者 34人 " 実施者 13人 " 希望者	訪問希望者(13人)と追加者の訪問看護指導を実施(1人当り2回予定)	保健婦
	瑞穂町	"	実施体制の整備			
	奥多摩町	"	訪問指導の実施	30回 30人	18回 30人	(保健婦)
	五日市町	"	予定なし			
	日の出町	"	60年度実施予定			
檜原村	"	未定				

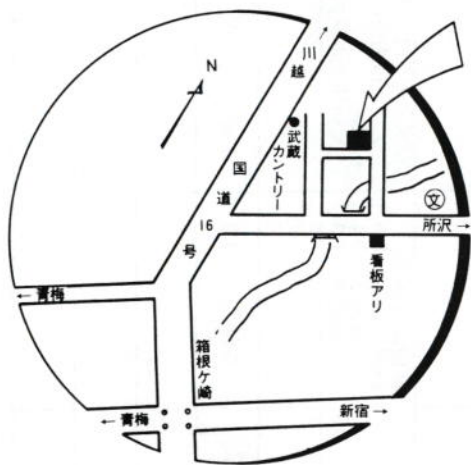
おとがき

明けておめでとうございます。昨年より予定されていた被保険者医療費の1割負担、保険料値上、診療指導監査の強化等、多数の難問を抱え、

今年の業界にとって、多難な幕明けとなりました。加ふるに例年にない厳しい寒さ、賢明なる諸先生方の御健康と御活躍をお祈り致します。(斉藤記)

期待と信頼にこたえて15年!!

検査のことなら武蔵臨床へ 電話一本緊急検査に応じます
学校, 会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢 3 3 9 ~ 1

TEL 0429 (64) 2621(代)

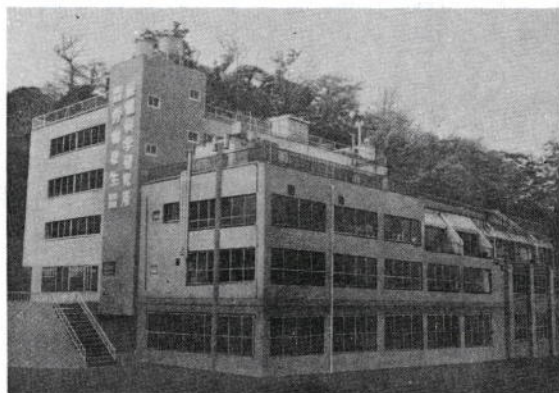
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町 1 0 6

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町 3 - 1 7

電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
- 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データー通信システム)
- 関係医療機関 約 3,500ヶ所
- 広範囲な検査内容
 - 内分秘学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

！都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致します。